

名古屋市秀吉清正記念館 令和8年度特別陳列

秀吉清正記念館の コレクション

ここ中村で
60年

令和8年

10月3日(土)～

11月15日(日)

**入場
無料**

開館時間 午前9時30分～午後5時

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は直後の平日）・第4火曜日

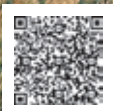
名古屋市秀吉清正記念館

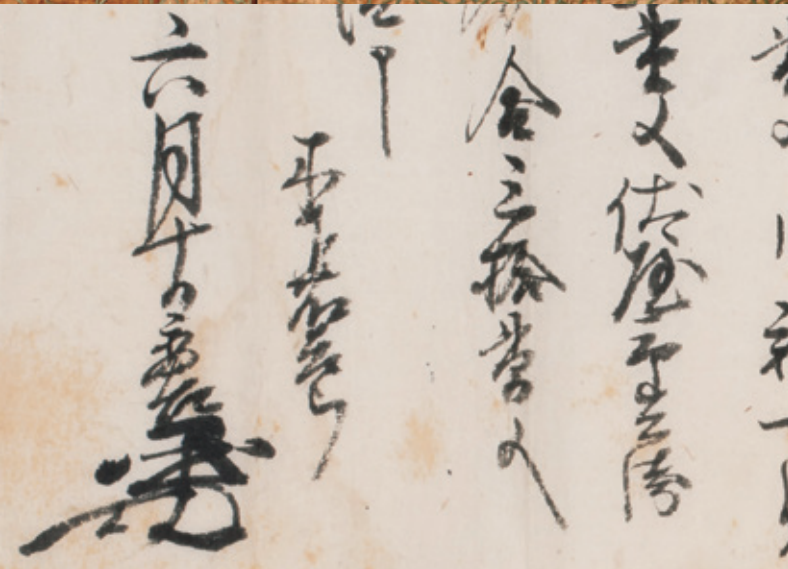
〒453-0053 名古屋市中村区中村町字茶ノ木 25

電話 052-411-0035 ファックス 052-411-9987



地下鉄東山線「中村公園」
3番出口から徒歩10分





コレクションを代表する2本の柱 ～^{おうみ}近江木下家と兼松家の伝来文化財～

名古屋市秀吉清正記念館は、尾張中村に生まれた武将、豊臣秀吉とその家臣加藤清正を記念して建てられ、平成3年(1991)に開館しました。その前身は昭和42年(1967)にここ中村で開館した「名古屋市豊清二公顕彰館」で、その期間を加えると約60年にわたって展示をおこなってきました。顕彰館の準備段階から今まで、市民のご協力によって収集できた資料は千点を超えています。

このコレクションの中で、名古屋市指定文化財として2本の柱となっているのが「近江木下家資料」と「兼松家資料」です。前者は秀吉の妻ねね(高台院)の養子木下利次(ねねの甥の子)の家系である旗本家に伝来した物で豊臣秀吉の遺品などを含みます。後者は織田信長や豊臣秀吉の親衛隊を務め、最後は尾張初代藩主の徳川義直に仕えた武将、兼松正吉の伝来品で、信長・秀吉・清正を始めとする著名な武将らから届いた手紙が中心です。

今回、この2本柱の中から初公開品も含めて代表的な名品を選び、一挙公開します。いずれの品も400年以上を経たデリケートな文化財のため基本的には数年に一度の陳列としております。この機会にぜひご覧ください。

■関連事業■

①10月24日(土) 講座「近江木下家と兼松家について」

②10月25日(日) 親子教室「ヨロイを脱がせる」

完全防備のヨロイ武者から、皆さんの手で兜などの部品を1つずつ外し、自由に触っていただきます(各部品の役割解説付き)。

※講師はいずれも当館学芸員、午前10時から11時30分です。

※②は小中学生とその保護者が対象です(未就学児付き添い可)。

※いずれも会場は隣接の中村図書館2階集会室です。

※募集期間はいずれも10月11日(日)から開催前日までです。

※申込み先は中村図書館です(先着順・定員25名)。

カウンターまたは電話 052-411-3651(受付9時30分～19時)にて。

写真

[左上から] 豊臣秀吉画像(部分・近江木下家資料) 茶地動植物文人物文様刺繍ビロードマント(部分・近江木下家資料・豊臣秀吉所用) 木下秀吉等連署状(部分・兼松家資料・秀吉初期花押) 足半(兼松家資料・織田信長所用)

[右] 色々威二枚胴具足(部分・近江木下家資料・豊臣秀吉所用)